

令和 8 年 9 月 25 日（金） 中央学校給食センター

【献立名】 親子丼 牛乳 いかのさらさ揚げ
 ごまじゃこ和え お月見ゼリー



【ひとロメモ】

十五夜について知ろう

（食文化）

今日は中秋の名月、または十五夜と言って、1 年中で月が一番美しく見える日です。この時期の空は澄んでいて月がきれいに見えます。よく晴れた夜に、月をながめてみるのもいいですね。

月は昔から農業に深く関わってきました。人々は、月の満ち欠けを見て、いつ、どんな農作業をしなくてはならないのかを目安にしていました。月のおかげで食べものが育ち、収穫できることから感謝の気持ちとこれからの豊作を願って、里いもやだんご、枝豆など、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月をながめました。

今日は、お月見にちなんでお月見ゼリーが出ています。収穫に感謝して味わっていただきましょう。

令和8年 9月 25日(金) 第二学校給食センター

(献立名) 親子丼 牛乳 大学いも キャベツのごまじゃこあえ お月見ゼリー



【ひとロメモ】

十五夜について知ろう

(食文化)

9月25日は十五夜です。月見は、十五夜と十三夜に、秋の収穫物を供えて月をながめる行事です。

月見のお供えものには、ススキや団子、さといもなどがあり、それぞれに意味があります。月見のススキは、「依代」(神がよりつくもの)といわれています。団子は、米を粉にして作った団子で、収穫への感謝の意味があります。

今日の給食ではお月見ゼリーをつけています。

今晚は美しい月が見られるといいですね。

令和 8 年 9 月 25 日（金）

飯山学校給食センター

【献立名】

親子丼 牛乳 いかのさらさ揚げ
ごまじゃこあえ お月見ゼリー

《今日の丸亀産の食材》
葉ねぎ チンゲン菜
きゅうり



【ひと口メモ】

十五夜について知ろう

（食文化）

秋は月がきれいに見える季節です。今日は、十五夜です。お月見は、平安時代に貴族の間で流行しました。一方、庶民にとっては、秋の収穫を祝う行事として昔から続いています。地域によって違いはありますが、十五夜にお供え物をするのが決まりです。 ススキは、秋の七草の一つで、魔除けになるといわれています。お月見団子は、丸い月に見立てて、感謝の気持ちを表します。そして、里芋や栗など、収穫されたばかりの農作物をお供えして、豊作に感謝します。

今日は、十五夜にちなんで、お月見ゼリーを付けています。今夜は月がきれいに見えるとういですね。味わっていただきましょう。